

『令和元度「学校評価アンケート」(保護者対象)』への回答

1 学習指導

- (1) いくつかの教科の先生の授業へのモチベーションが低い様に感じられ、期待して東高に入れましたがその点が残念です。もちろん素晴らしい先生もいますのでこの機会に是非改善して欲しいと思います。

【回答】本校では年間2回の授業アンケートを行い、各教員が自身の授業の内容を生徒からの目線で客観的に把握するようにしています。その結果、「思考力・判断力・表現力を育むための授業改善」が本校教員全体で取り組むべき喫緊の課題として明確になっています。授業担当者によって生徒の学習到達度に差が出ないように、来年度から研究授業を行い、教科全体で指導力を向上させる取組を実施する予定としています。

- (2) 「NO スマホ WEEK」で対面コミュニケーションの大切さを実感しているかと疑問です。自分を客観的に見つめる機会となり、自分の課題に気づき、見直してくれたいと思います。

【回答】今年度、“NO！スマホ！WEEK！（DAY）”といった取り組みを行いました。実施した1・2学年では、生徒・保護者ともに「10分休み等の学習時間の増加」や「対面コミュニケーションの機会の増加」などの教育的効果が「ある」と回答した割合が65%前後、「ない」と回答した割合が35%前後となっており、一定の効果があつたと考えています。来年度も継続する予定ではありますが、実施学年や実施時期、実施方法を改善して行いますので、ご協力の程よろしくをお願いします。

- (3) 家庭学習が集中して取り組めていないのでご指導いただけるとありがたいです。子供の学習時間が全く足りていないと感じています。

【回答】本校では、週1,000分（およそ平日2時間、休日4時間）の自学自習を励行しています。年間4回にわたって学習状況調査を実施し、その結果をふだんの学習指導に活用するようにしています。3年生にもなるとこの学習時間は容易に確保されるのですが、1・2学年ではなかなか目標時間に達するのが難しいという現状です。

学習時間を増やす上で、教員が「宿題を課す」というのも即効性のある解決策のひとつだと思いますが、他者から強いられるのではなく、主体的に学習に取り組むように仕向けていくことが、生涯にわたって学び続ける姿勢につながると考えます。今後も授業をとおして主体性を育んでいきたいと思っています。

2 キャリア教育と進学指導

- (1) 多方面からの講師を依頼した講演会（学びのフローラ）や情報提供に感謝しております。子供の興味を広げ、それが将来の進路につながるよう、引き続き親側への情報提供、学習機会を作っていただけますようお願いいたします。

【回答】今年度、10回にわたり「学びのフローラ」を実施し、生徒も積極的に参加して大変好評を得ました。引き続きお子様の興味・関心を広げ、自らの進路を考える機会となるような進路行事を開催していきたいと考えております。また、通信等でも情報提供をしていきますのでご覧ください。

- (2) オープンキャンパスへの参加を勧めてもらったのをきっかけとして大学進学への具体的な目標をもつ事ができました。前向きに勉強に取り組める様になり良かったです。

【回答】オープンキャンパスに参加することで大学の詳しい情報を得るだけでなく、お子様自身が大学での学びや生活をより具体的に考える機会となります。また、高校生である現在の自分の学習や生活の在り方を振り返る機会にもなり、意欲的に高校生活を送ることにつながることを期待できます。

5 月ごろから職員室前の掲示板にオープンキャンパスの案内を掲示し、お子様にご案内をさせていただきます。是非ともご家庭でオープンキャンパスへの参加をご検討ください。

3 生活・安全指導

(1) 部活動の時間が長すぎます。特に土日は4時間のはずが守られておらず、家庭学習の時間が十分にとれません。

【回答】今年度、北海道教育委員会から「道立学校に係る部活動の方針」が出され、それに則り、休養日と活動時間について本校でも方針を策定しました。(HP 参照) 各部活動にその方針を徹底させていたところですが、まだ十分守り切れていない部活動があることは、学校としては大変申し訳なく思っています。あらためて、練習内容の効率化を図りながら、教職員全体で活動方針の徹底を図っていきます。

(2) 来年度は学校祭が短縮されたり、合唱コンクールがなくなるかもしれないと聞いています。行事は今まで通り変更しないでいただきたい。忙しい中でも勉強の両立は出る子供達です。何十年もの伝統を壊さないで欲しい。

【回答】次年度は、合唱コンクールをなくし、学校祭の充実を図っていくこととなりました。学校行事の精選に関しては10年以上に渡って教職員で話し合ってきました。勉強、行事、部活動等、様々なものを同時にやりくりできる生徒がいる中、それが出来ずに苦勞している生徒もたくさんおり、特に4月・5月の新学年が始まった時期の過密スケジュールを解消することが急務だと考えてきました。学習習慣が身につかず、授業の進度にもついていけない新入生も多くいる現状を踏まえ、生徒会執行部を中心に全校生徒とも話し合いを続けてきました。本校といたしましても長く続いてきた学校行事を整理するのは苦渋の判断でもあります。持続可能な本校の教育活動の充実の一環として、学校行事の精選は必要なことと考えておりますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

4 その他

(1) 夏場扇風機がないクラスがあったり、網戸がないのは健康に悪いです。この学習環境では成果を上げるのは難しいと思います。設置を働きかけて欲しいです。また、冬場も十分な暖房が入らず寒いことが多く、子供が体調を崩さないか心配です。

【回答】夏の暑さ対策については、熱中症にならないため、授業中の水分補給や頻繁な換気、またクラスによっては扇風機の設置等で対処してきました。網戸の設置については、予算配置が難しいのが現状です。生徒の状況を常に把握し、健康管理に更に努めてまいります。また、冬場の暖房につきましては、教室の温度調整を図りながら、暖房の設定を行っています。十分掌握出来ていないこともありましたが、室温の把握をしっかり行っていききたいと思います。

(2) 子供たちが長時間使用する机や椅子の点検を是非していただきたい。長年使用しているせいでかなり痛んでいます。

【回答】机、椅子の交換は本校としても、喫緊の課題としています。これまでも、道費による予算を要求していますが、配当は厳しいことなどから、関係の外部団体等とも協議を進め、更新に向けて善処してまいります。